▼ゾスパタ錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】ギルテリチニブ フマル酸塩　Gilteritinib Fumarate　【分類】抗悪性腫瘍剤　［FLT3 阻害剤（TKI）］
【単位】▼40mg/錠
【常用量】120mg/日［最大 200mg/日］
●減量基準により 40mg ずつ減
【用法】1 日 1 回
【透析患者への投与方法】
HD 患者の AML に 120mg/日の適用後，血球減少，FN となった症例（Tollkuci E, et al: J Oncol Pharm Pract 2021 PMID: 33175659）
【保存期 CKD 患者への投与方法】
【特徴】再発又は難治性の FLT3（FMS-like tyrosine kinase 3）遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病に適用されるチロシンキナーゼ阻害剤．FLT3 遺伝子変異陽性を確認された患者に適用．
【主な副作用・毒性】QT 延長，骨髄抑制，出血性合併症，肝機能障害，腎機能障害など
【安全性に関する情報】QT 延長のモニター（1）用量制限毒性は TLS，LDH・アミラーゼ・CK 上昇，失神（Usuki K, et al: Cancer Sci 2018 PMID: 30039554）
【吸収】ka=0.43/hr（1）食事の影響を受けない（James AJ, et al: Clin Pharmacokinet 2020 PMID: 32304015）
【F】88%以上［イヌ］（1）
【tmax】
【代謝】CYP3A4 で代謝（1）代謝物 3 種の血中存在率はいずれも 10%未満（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 13.11%以下［po］（1）P-gp の基質（1）
【CL/F】14.85L/hr（1）
【t1/2】113hr（James AJ, et al: Clin Pharmacokinet 2020 PMID: 32304015）84～126hr（1）
【蛋白結合率】約 90%［Alb］（1）
【Vd】1100L/man（1）
【MW】1221.50
【透析性】資料なし（1）除去率は低いと思われる（1）
【O/W 係数】
【薬物動態】線形動態（Usuki K, et al: Cancer Sci 2018 PMID: 30039554）
【相互作用】P-gp の基質で弱い阻害剤（1）BCRP，MATE1，MATE2，OATP1B1，OCT1，OCT2 を阻害（1）CYP3A4，P-gp 関連の相互作用あり（1）QT 延長の相加的影響に注意（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20221228

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。